

矢野 邦夫 先生
浜松市感染症対策調整監
浜松医療センター感染症管理特別顧問

’81年 名古屋大学医学部卒業。名古屋第二赤十字病院、名古屋大学病院を経て、’89年 フレッドハッチンソン癌研究所、’93年 県西部浜松医療センター（2011年4月より「浜松医療センター」に病院名変更）。’96年 ワシントン州立大学感染症科エイズ臨床・エイズトレーニングセンター臨床研修修了。’97年 感染症内科長／衛生管理室長、’08年 副院長、’20年 院長補佐、’21年4月より現職。

ホームページでも、公開しています。

メディコン CDCWatch

検索

Click!

株式会社メディコン

COVID-19パンデミックにおける 青少年の自殺未遂の増加

CDCがCOVID-19パンデミックでの12～25歳の青少年における自殺未遂疑いの救急外来受診について報告しているので紹介する(1)。

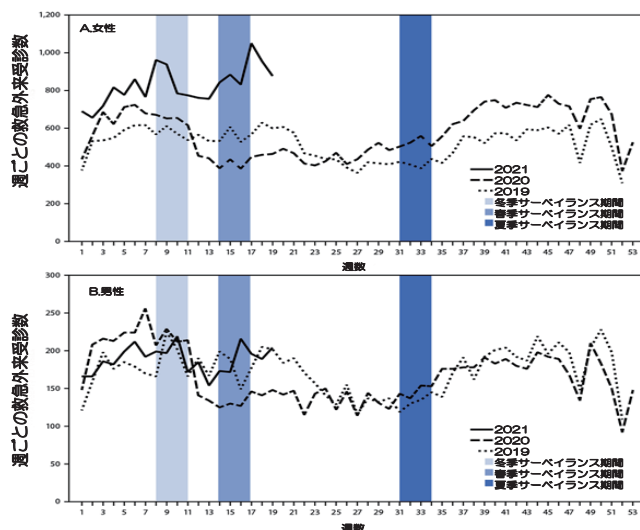
【調 査】

- CDCが2019年1月1日～2021年5月15日の期間に、12～25歳の青少年において、性別およびCOVID-19パンデミック期間の3つの異なる時間枠〔2020年春（2020年3月29日～4月25日）、2020年夏（2020年7月26日～8月22日）、2021年冬（2021年2月21日～3月20日）〕での自殺未遂疑いの救急外来受診について調査した。
- 自殺未遂疑いの救急外来受診には、自殺未遂の受診、および、いくつかの非自殺自傷行為での受診が含まれる。

【12～17歳の青少年】

- 12～17歳の青少年については、自殺未遂疑いの週ごとの救急外来受診数は、2019年と比較して2020年春は減少した。その後、男女ともに増加した(図1)。
- 12～17歳の青少年の自殺未遂疑いの週平均救急外来受診数は、2019年に比較して、2020年夏に22.3%、2021年冬に39.1%増加し、女性でより顕著に増加した。2021年の冬は、2019年の同時期と比較して女性で50.6%高かった。男性では3.7%の増加であった。
- パンデミックが進行するにつれて、12～17歳の青少年における自殺未遂疑いの救急外来受診率は増加した。

図1. 12～17歳の青少年における自殺未遂疑いの週ごとの救急外来受診数（性別）
—米国国立症候群監視プログラム、2019年1月1日～2021年5月15日



2019年と比較すると、2020年春に2.4倍、2020年夏に1.7倍、2021年冬に2.1倍となった。この増加は主に、女性の自殺未遂疑いによる受診によるものであった。

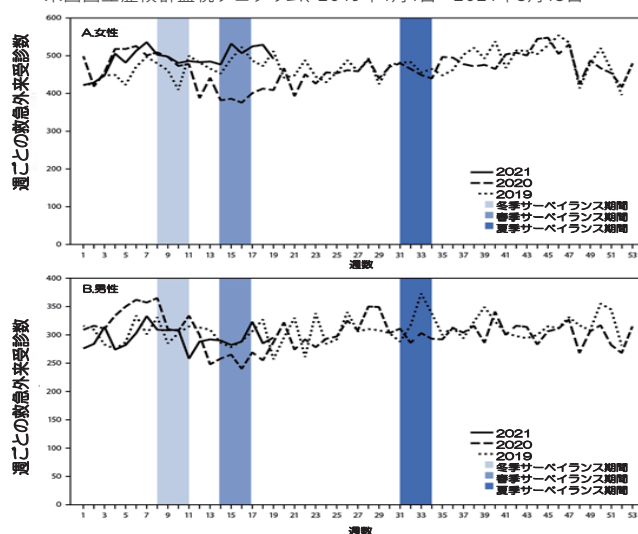
[18～25歳]

- 18～25歳の男性および女性では、自殺未遂疑いの救急外来受診数は、2019年と比較して2020年春に16.8%減少した。その後は増加したが、2019年と同程度であった(図2)。
- ただし、18～25歳の自殺未遂疑いの救急外来受診率は、パンデミック全体で2019年と比較して高かった。2019年と比較すると、2020年春は1.6倍、2020年夏は1.1倍、2021年冬は1.3倍であった。

[考 察]

- 2020年3月29日から4月25日までの期間は、2019年の対応する期間と比較して、12～25歳での自殺未遂疑いの救急外来受診が減少した。この期間は国家非常事態宣言が発令され、全米で救急外来受診の総数が42%減少した期間であった。
- しかし、自殺未遂疑いの救急外来受診は、2020年の夏に12～17歳の女性で増加し、残りの調査期間を通じて上昇したままであった。そして、これらの受診の週平均数は、2019年の対応する期間と比較して、2020年夏に26.2%、2021年冬に50.6%増加した。
- 自殺未遂疑いの性別による相違と、青少年(特に女性)における増加は、過去の研究結果と一致している。COVID-19のパンデミック前の研究は、若い女性が男性と比較して自殺未遂の救急外来受診が多く、割合も増加していることを示していた。しかし、この研究で得られた知見は、過去の報告で特定されているよりも、パンデミック期間での若い女性の深刻な困窮を示唆している。この集団に対して注意を向け、予防策を強化する必要がある。
- 青少年は、身体的距離(学校、教師、仲間とのつながりの欠如を含む)、メンタルヘルス治療への障壁、薬物使用の増加、家族の健康や経済問題への不安など(これらはすべて自殺の危険因子である)の緩和策の影響を特に受けている可能性があるため、リスクの高いグループの代表となっている。
- さらに、メンタルヘルスの問題、児童虐待やネグレクトの疑い、自殺未遂の危険因子による平均救急外来受診率も、2020年では2019年よりも増加しており、自殺未遂疑いの増加に寄与している可能性がある。逆に、大人が青少年と一緒に家で過ごす時間が増えたことで、大人が自殺念慮や行動に気づき、青少年を救急外来に連れて行く可能性が高くなったかもしれない。

図2. 18～25歳の青少年における自殺未遂疑いの週ごとの救急外来受診数(性別)
—米国国立症候群監視プログラム、2019年1月1日～2021年5月15日



[文献]

- (1) Yard E, et al. Emergency department visits for suspected suicide attempts among persons aged 12–25 years before and during the COVID-19 pandemic — United States, January 2019–May 2021
<https://www.cdc.gov/mmwr/volumes/70/wr/pdfs/mm7024e1-H.pdf>

こちらにも公開しています。

メディコン CDCガイドライン

検索

製造販売業者

株式会社メディコン

本社 大阪市中央区平野町2丁目5-8 ☎0120-036-541

crbard.jp

BD, the BD Logo are trademarks of Becton, Dickinson and Company or its affiliates. © 2021 BD. All rights reserved.

